



# いちご いちえ ichigo 一笑

令和7年  
3月発行

# No.13



KANUMA CITY

鹿沼市

発行：鹿沼市教育委員会生涯学習課 ☎63-3498・学校教育課 ☎63-2236

鹿沼市 地域学校協働活動&コミュニティ・スクールだより



## コミュニティ・スクール



(「学校運営協議会」を設置した学校のこと)

令和6年度も、鹿沼市内の各学校運営協議会が実施計画どおりに進行し、今年度の日程全てが無事に終了しました。各学校運営協議会は3回から4回実施され、昨年度に比べて運営が円滑になり、協議内容も充実してきました。次年度も引き続き、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体化が図られますよう、ご協力をお願い申し上げます。

今回は、鹿沼市内の学校運営協議会の開催状況をまとめてみました。

### 第1回



- ◆第1回は、4月下旬から6月下旬にかけて実施
  - ◆委員さんへの任命書の交付
  - ◆学校運営に関する基本方針の承認
- ※合同校は… 3回とも合同実施 1, 2回はそれぞれで第3回を合同実施  
第3回のみそれぞれ 毎回前半を全体会、後半を各校で協議

#### 寄せられた声

- ・基本方針の説明を教育関係者以外の人でも理解できるように平素な表現でお願いしたい
- ・基本方針について理解するのに時間を要するので、質疑の時間を十分に確保してほしい

### 第2回



- ◆第2回は、7月実施4協議会 9月実施2協議会 10月実施8協議会 11月実施14協議会
  - ◆児童・生徒を交えての協議会の実施
  - ◆教職員との協議会の実施
  - ◆授業参観、学校行事参観
  - ◆地域学校協働活動の実施（盆踊り、資源物回収、学校環境整備等）
- ※地域や学校の実情に応じて、実働部隊を兼ねている学校運営協議会もあります。

#### 寄せられた声

- ・学校に負担がかからないように地域の関係者などに声をかけ実行委員会を立ち上げ、地域行事を運営した。

### 第3回



- ◆第3回は、11月下旬から2月下旬にかけて実施
- ※4協議会が2月に第4回を実施しています
- ◆学校運営協議会が学校関係者評価委員会を兼ねて、学校評価の結果考察を教務主任、学習指導主任、児童・生徒指導主任主事等より説明

#### 寄せられた声

- ・学校の課題や問題の説明を受け、その解決のためにグループごとに分かれ話し合いが行われた。学校の教員もグループに加わって、難しい課題についてもざっくばらんに話し合えてよかった。

# 地域学校協働活動

「学校を核とした地域づくり」を目指して地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のこと。  
放課後子ども教室、職場体験学習、登下校の見守り、授業の補助・部活動支援、地域行事におけるボランティア体験等がある。



## 放課後子ども教室 「学びステーション鹿沼」

毎週土曜日、千渡自治会館をメイン会場に、地域の方々の協力を得ながら工作やクッキング体験、季節行事の様々な体験活動をしています。

この日はひな祭り直前。市内の各小学校から集まった子どもたちは、工作の先生の指導のもと協力しながら、紙粘土で個性豊かなおひな様を作っていました。



## さつきが丘小学校 卒業プロジェクト（キャリア教育）

様々な職業の人から直接話を聞き、自分の将来について考える授業。さつきが丘小では、地域コーディネーターの方が学校の意向をくみ取り、講師選定・依頼をされているそうです。

今年度は、動物園飼育員、ブレックスコーチ、プログラマー、デザイナー、医療関係等幅広いジャンルから、講師の方が集まりました。貴重な機会に、子どもたちはもちろん先生方も積極的に話を聞いていました。

地域コミュニティの希薄化の中、子どもたちの世界をより広げることのできた授業でもあったのかなと感じました。



## 放課後子ども教室 「池ノ森小放課後スクール」

月に2回程度、池ノ森小学校において、地域の方々の協力を得ながら放課後に絵手紙教室、クッキング、工作などの活動をしています。

今回の活動で子どもたちは、絵手紙の先生の指導のもと、花や果物の実物を見ながら絵を描き、それぞれお世話になった先生方への感謝の言葉を添えていました。

個性豊かな作品が出来上がりました。

## 令和6年度のふりかえり

地域学校協働活動は地域と学校が連携・協働して実施する活動ですが、鹿沼市は地域の『子どもたちのために』という熱い想いで活動してくださっている方が非常に多くいらっしゃいます。紙面にて活動紹介させていただいている活動はほんの一部です。地域の方々のお力はもちろんのこと、各小中学校の先生方のご尽力のおかげでもあり、この場をお借りして感謝申し上げます。近年様々な媒体で教員のハードワークについて話題になりますが、中でもやはり『子どもたちのために』という想いから、このような活動につながってくださっているのだと思います。

筆者は今年度途中で育休から復職しましたが、一度現場を離れてみて、学社融合時代の鹿沼を継承しつつ、時代の流れを加味できているのか考える機会にもなりました。今後、学校・家庭・地域による教育責任の分担が適切に意識され、よりよい鹿沼市の教育行政の一助となるよう、生涯学習課として尽力して参ります。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。